

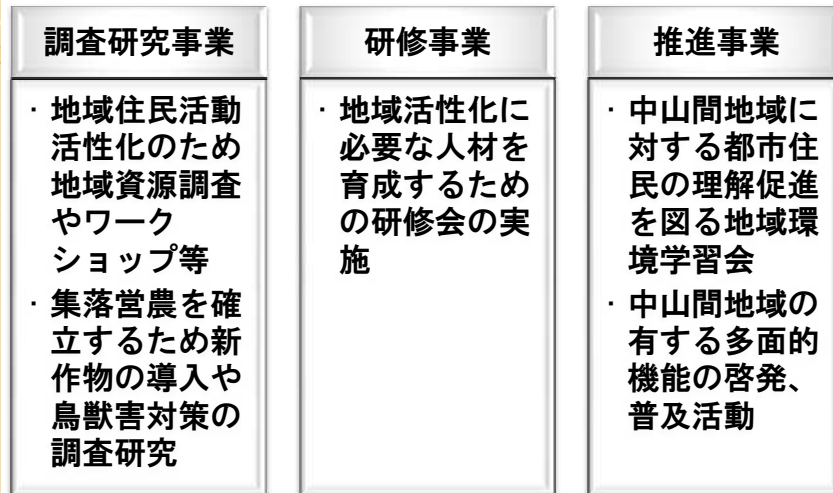
埼玉県における 中山間地域ふるさと支援事業

埼玉県農林部
農業ビジネス支援課

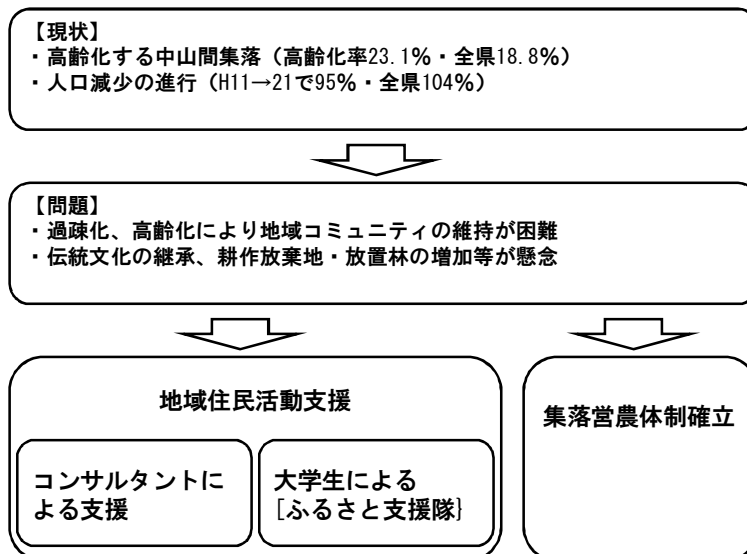
中山間地域ふるさと支援事業とは

- 中山間ふるさと・水と土保全対策事業実施要綱（農林水産省）に基づき、都道府県に基金を設置。埼玉県の積立額は6億9千万円。
- 中山間地域が有する多面的機能の発揮と、地域住民活動の活性化を目的とする。
- 事業主体は都道府県。
- 事業費は約12,000千円/年。

事業の構成

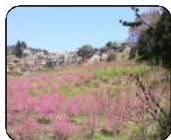


調査研究事業



調査研究事業のうち

地域住民活動支援【コンサルタント】



東秩父村上ノ貝戸地区（H17～18）

- ・遊休農地に花桃を植栽し、農業所得の向上と地域の景観向上を図り、イベント「花桃まつり」開催につなげた。
- ・（委託先：㈱ポリテックADD）



ときがわ町大柵地区（H19～20）

- ・廃校を活用した交流施設「くぬぎむら体験交流館」のオープンに先立ち、山村体験メニューやレストラン運営などについてワークショップを実施した。
- ・（委託先：㈱農協観光）



小鹿野町河原沢地区（H23～）

- ・地域住民によって始まった「尾ノ内溪谷の氷柱」は集客面で効果を上げていることから、より訪れた方々と地域住民との交流が深まる取組を模索している。
- ・（委託先：㈱JTB関東）

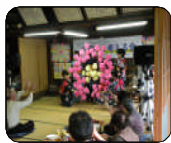
調査研究事業のうち

地域住民活動支援【ふるさと支援隊】



地元NPOとの協働により、都幾川水源地の荒廃した山林を整備して緑豊かな森を作る「源流の森づくり」を行いました。

（大東文化大学 島田ゼミ）



秩父市吉田太田部地方に伝わる郷土芸能「花輪おどり」を半世紀ぶりに復元し、地域に笑顔と活力をもたらしました。

（十文字学園女子大学 新井ゼミ）



秩父市大滝栃本地区に広がる急傾斜の農地では、耕作されなくなった雑草だらけの畑に菜の花を植えて、美しい景観を取り戻すプロジェクトが始まりました。

（帝京大学 山田ゼミ）

調査研究事業のうち

集落営農体制確立



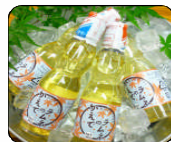
野生動物被害の総合的な防除技術の開発

- ・ニホンザルの被害防止技術の開発
- ・新たな被害防止柵の開発
- ・イノシシの捕獲技術の開発



ジャガイモ（ノザンルビ、シホクワイ）生産と加工品開発

- ・栽培技術体系の確立
- ・ジャガイモ中のアントシアニン分析
- ・加工適性試験



秩父のカエデ葉を利用したラムネの開発

- ・葉の成分分析（ポリフェノール）
- ・飲料製品の開発
- ・アンケート調査

研修事業



先進地視察研修1

山形県のアンテナショップ、銀座「おいしい山形プラザ」において、山形の食材を活用したレストランや特産物の販売について視察し、地域ブランドの創出について研修。



先進地視察研修2

鴨川市「みんなみの里」において、直売事業、体験事業、加工事業、レストラン事業について研修。



地域リーダー研修会

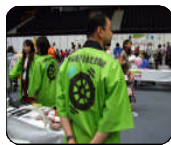
(株)JTBから講師を招へいし、地域の宝を活かした観光の在り方について、全国の優良事例、失敗事例を交えて紹介。

推進事業



都市住民を対象とした地域環境学習会

- ・ 中山間地域の魅力を再発見する体験型バスツアー
- ・ 内容はこんにやくづくり体験や文化遺産見学など



住民活動支援を補完するための消耗品等

- ・ 地域イベントののぼり旗、ハッピ等
- ・ 観光パンフレットの印刷、雑誌の購入配布等